



交付運用報告書

# SOMPO 123 先進国株式

## 追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2021年12月21日～2022年12月21日

第1期 決算日：2022年12月21日



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く先進国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第1期末 2022.12.21

基準価額	9,983円
純資産総額	1,569百万円
騰落率*	△0.2%
期中分配金合計	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

#### ▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>  
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



#### SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル  
お問い合わせ先：リテール営業部

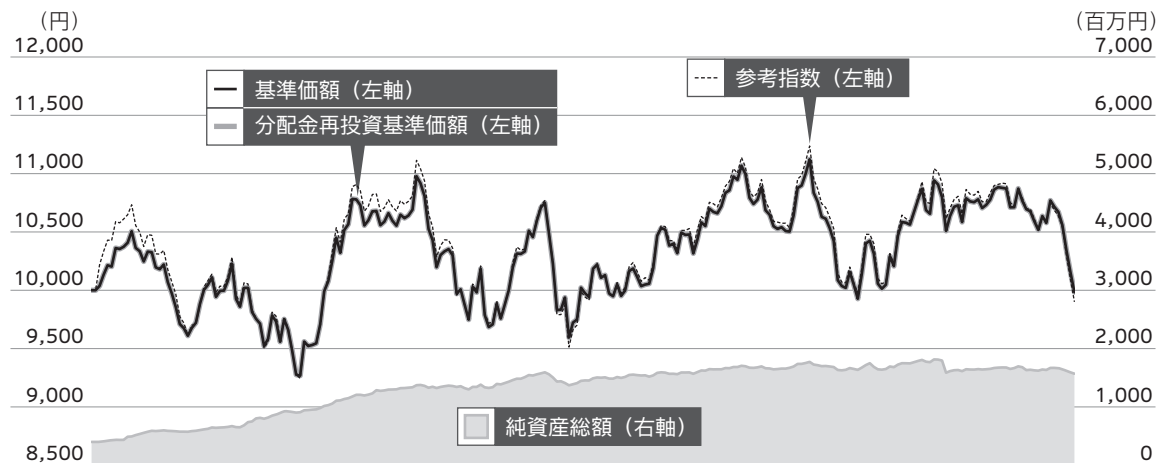
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

# 運用経過

## ● 基準価額の推移



設定日  
2021.12.21

第1期末  
2022.12.21

設定日

騰落率

第1期末

基準価額  
10,000円

△0.2%  
( 分配金再投資 )  
( 基準価額ベース )

基準価額  
9,983円  
( 期中分配金 )  
( 合計0円 )

- 分配金再投資基準価額および参考指数 (MSCI コクサイ インデックス (配当込み)) の推移は、設定時の基準価額 (10,000円) をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### SOMPO123 先進国株式

当期は、投資している先進国株式マザーファンドの基準価額が下落したことにより、当ファンドの基準価額も下落しました。

### 先進国株式マザーファンド

期中の騰落率は-0.2%となりました。

外国株式市場は現地通貨ベースで大きく下落したものの、為替市場は主要通貨に対して円安に進んだため、当ファンドの基準価額は小幅な下落に留まりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第1期 2021.12.21~2022.12.21		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	8円	0.077%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,353円です。
( 投信会社 )	( 3 )	( 0.033 )	ファンドの運用の対価
( 販売会社 )	( 3 )	( 0.024 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受託会社 )	( 2 )	( 0.020 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.097	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株式 )	( 10 )	( 0.096 )	
( 投資信託証券 )	( 0 )	( 0.001 )	
(c) 有価証券取引税	5	0.051	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株式 )	( 5 )	( 0.051 )	
( 投資信託証券 )	( 0 )	( 0.000 )	
(d) その他費用	29	0.282	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
( 保管費用 )	( 27 )	( 0.265 )	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
( 監査費用 )	( 2 )	( 0.015 )	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
( その他 )	( 0 )	( 0.002 )	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	52	0.507	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

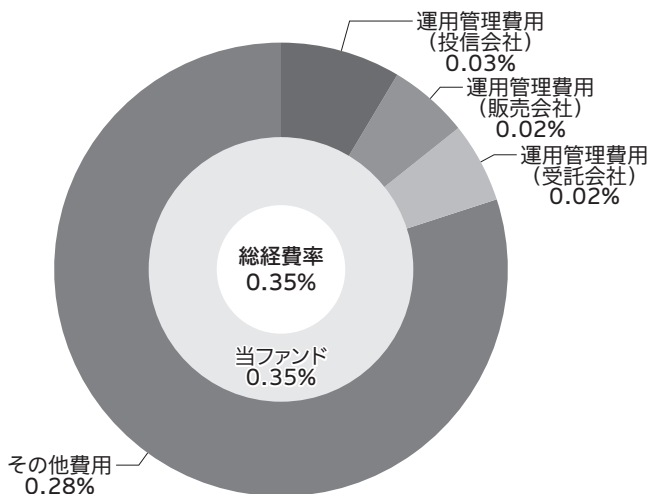
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.35%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

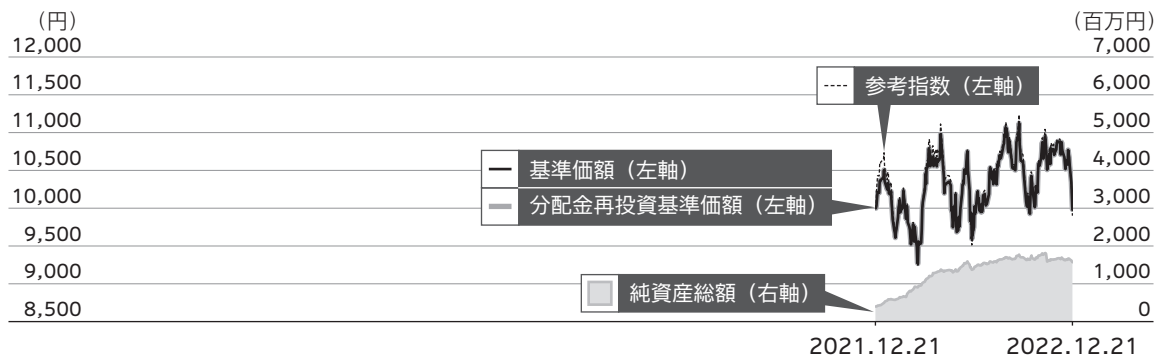
注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ● 最近5年間の基準価額等の推移 2017.12.21~2022.12.21



- 分配金再投資基準価額および参考指数（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2021.12.21 設定時	2022.12.21 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,983
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	△ 0.2
参考指数騰落率	(%)	—	△ 1.0
純資産総額	(百万円)	400	1,569

- 参考指数は、MSCIコクサイ インデックス（配当込み）です。

指数に関する詳細は15ページをご参照ください。

## ● 投資環境

### ○外国株式市場

当期の外国株式市場は円建てベースで小幅に下落しました。

新型コロナウイルスのワクチン接種と治療薬の普及などを背景に世界的に経済活動の再開が進んだものの、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた経済制裁や物流の混乱などで物価高が期を通して進行しました。物価高への対応のため、欧米の中央銀行を中心に金融緩和から引き締めへと急激に舵を切ったことが嫌気され、各国の株価は現地通貨ベースで大幅に下落しました。

他方、2022年12月の会合で日本銀行も金融政策の修正を行ったものの、期を通して見ると金融引き締めを進める欧米諸国と緩和姿勢を維持する日本との方向性の違いから、日本と欧米諸国との間で金利差が拡大したことにより為替市場では円安が進み、円建てベースの株価は小幅な下落に留まりました。

### ○為替市場

当期の米ドル円市場は円安ドル高となりました。米国の政策金利引き上げが開始された2022年3月以降、日米間の金利差が拡大したことなどを背景に一時150円台まで円安ドル高が進みましたが、日本銀行による金融政策の修正などを背景に、期末には132円近傍となりました。

当期のユーロ円相場は、双方の通貨で対ドルでの減価が進んだ一方、ECB（欧州中央銀行）も2022年7月より政策金利の引き上げに踏み切り、金融政策の方向性に違いが見られたことなどから、円安ユーロ高が進みました。

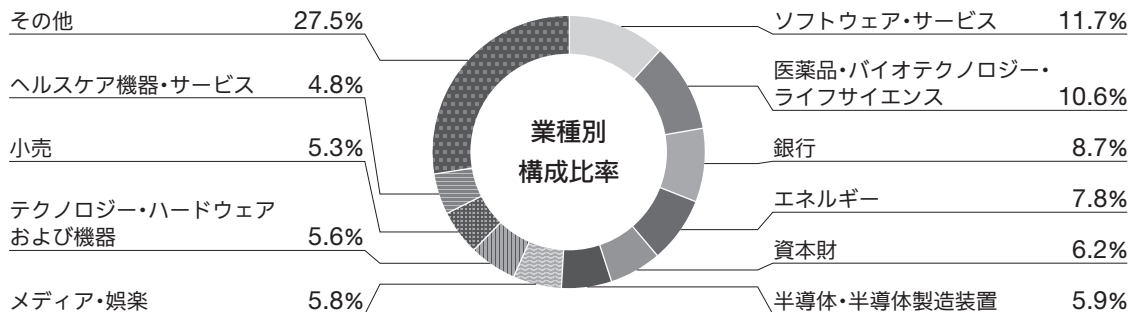
## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して先進国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

### 先進国株式マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。

当ファンドの運用方針に基づき、日本を除く先進国の主要企業の中から123銘柄程度に分散投資したポートフォリオを構築しました。



注1. 業種別構成比率は、第1期末における外国株式の評価総額に対する比率。

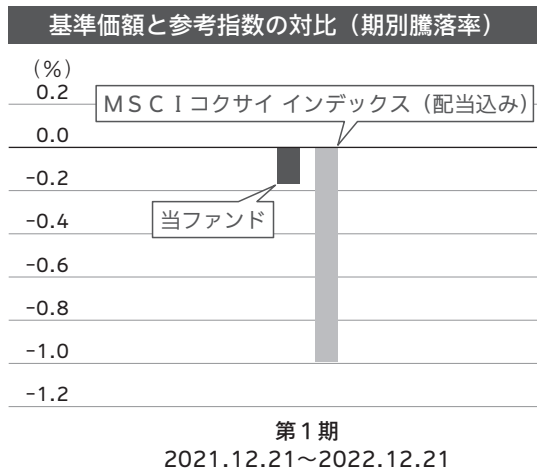
注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%にならない場合があります。



## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

なお、当期における参考指数との対比では、騰落率は、参考指数（MSCIコクサイインデックス（配当込み））の騰落率（-1.0%）を0.8%上回りました。



### 先進国株式マザーファンド

マザーファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

なお、当期における参考指数との対比では、騰落率は、参考指数（MSCIコクサイインデックス（配当込み））の騰落率（-1.0%）を0.8%上回りました。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第1期 2021.12.21~2022.12.21
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	181

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

## ● 今後の運用方針



### SOMPO123 先進国株式

今後の運用においても、マザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### 先進国株式マザーファンド

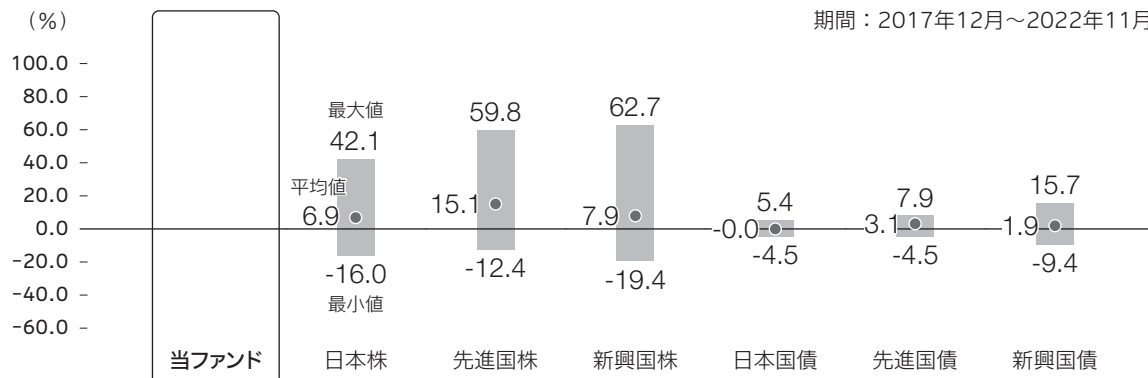
今後の運用においても、日本を除く先進国の主要企業の株式への分散投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指します。

## ● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無制限
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	 SOMPO123 先進国株式 先進国株式マザーファンド受益証券
	 先進国株式マザーファンド 日本を除く先進国の株式
運用方法	<p>① 先進国株式マザーファンド（以下「親投資信託」といいます。）受益証券を通じて、主として、日本を除く先進国の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）等を含みます。以下同じ。）に分散投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。</p> <p>② 親投資信託の組入比率は、原則として高位を基本とします。</p> <p>③ 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

## ● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間：2017年12月～2022年11月



❗ 資料作成時において、当ファンドの運用期間が1年未満のため、当ファンドの年間騰落率を記載しておりません。

\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は15～16ページをご参照ください。

# 当該投資信託のデータ

## ● 当該投資信託の組入資産の内容

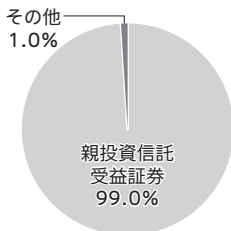
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 組入ファンド

	第1期末 2022.12.21
先進国株式マザーファンド	99.0%

注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 純資産等

項目	第1期末 2022.12.21
純資産総額	1,569,611,864円
受益権総口数	1,572,270,438口
1万口当たり基準価額	9,983円

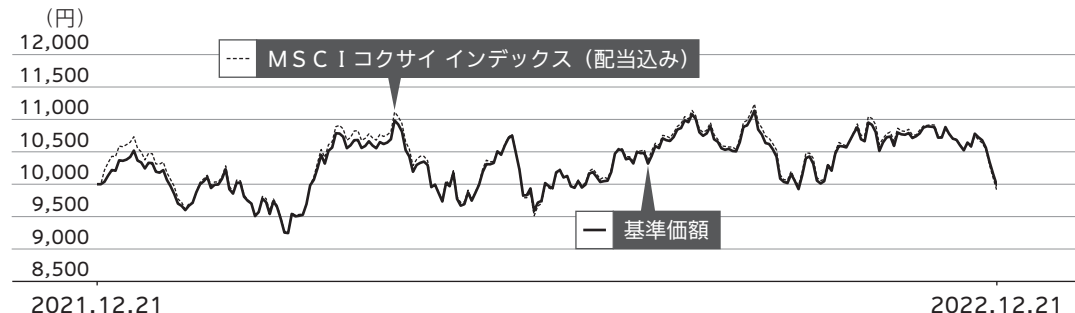
※ 当期中における追加設定元本額は1,969,534,291円、同解約元本額は797,263,853円です。

## ● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 先進国株式マザーファンド

#### 基準価額の推移



- 参考指数（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の推移は、2021年12月21日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

#### 1万口当たりの費用明細

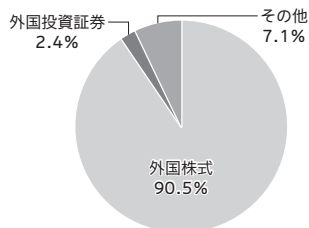
項目	2021.12.21～2022.12.21	
	金額	比率
売買委託手数料	10円	0.098%
（株式）	(10)	(0.097)
（投資信託証券）	(0)	(0.001)
有価証券取引税	5	0.051
（株式）	(5)	(0.051)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
その他費用	28	0.269
（保管費用）	(28)	(0.268)
（その他）	(0)	(0.001)
<b>合計</b>	<b>43</b>	<b>0.418</b>

期中の平均基準価額は10,354円です。

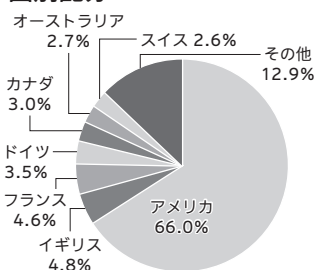
## 組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェア および機器	アメリカ・ドル	アメリカ	4.5%
2 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.9%
3 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%
4 EXXON MOBIL CORP	エネルギー	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%
5 AMAZON.COM INC	小売	アメリカ・ドル	アメリカ	1.9%
6 ENBRIDGE INC	エネルギー	カナダ・ドル	カナダ	1.8%
7 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ・ドル	アメリカ	1.5%
8 CHEVRON CORP	エネルギー	アメリカ・ドル	アメリカ	1.4%
9 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	耐久消費財・アパレル	ユーロ	フランス	1.3%
10 ROYAL BANK OF CANADA	銀行	カナダ・ドル	カナダ	1.2%
組入銘柄数		123銘柄		

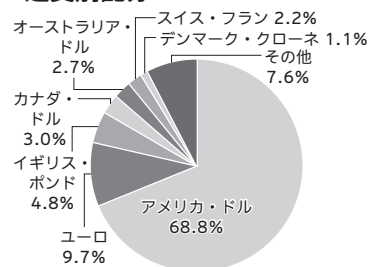
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年12月21日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 指数に関して

### 当ファンドの参考指数である「MSCIコクサイ インデックス（配当込み）」について

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

#### ■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。



**■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）**

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

**■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）**

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

SOMPO123 先進国株式

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/7058/price.html>

The screenshot shows the SOMPO Asset Management website. At the top, there is a navigation bar with 'HOME', 'Fund Information', 'Market & Fund Report', 'Our Business', and 'About Us'. The main content area displays the fund name 'SOMPO123 先進国株式' and its Japanese name '日本経済新聞掲載名：123先進株'. Below this, there are three buttons: '交' (Delivery Prospectus) with the date '2022.09.16', '月' (Monthly Report) with the date '2022.11.30', and '休' (Overseas Holiday) for '2023年'. A '請求目論見書' (Request Prospectus) button is also visible with the date '2022.09.16'. The website header includes 'SOMPO アセットマネジメント' and 'SOMPO ホールディングス'.

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

### 交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

月

### 最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

休

### 海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

### 請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。